

05

Lifestyle

男たちよ目覚めなさい

イラスト/ユリコフ・カワヒロ

Theme

紹介マナーに 要注意



カトリーヌ10世
Catherine X

Profileグローバル化が進む社交界事情にも適する。密かな趣味は人間観察とコスプレ。好きな飲み物はモンラッシュ。日本ではほとんど知られていない、ある小国の女王とのウフサも?

ゆ

とりある男はキブする時代。人も気軽にどんどん紹介していきこう、というムードがあります。紹介したり紹介されたりすることで、ネットワークを広くしていくことができたなら最高ですからね。

ただし、注意したいことがあります。紹介マナーをすつとばして失礼した、あるいは男性の話をしましょう。

私が社外役員を務めるAという組織があります。そこにPさんという専

門家を、ある要職の仕事の適任者として紹介しました。Pさんはそれなりに大きな成果を上げました。そこまでは良かったのです。Pさんは退任し、組織Aに対して次の仕事を自ら提案し、そこに自分のお友達Qさんを勝手に推薦しました。当初の紹介者である私にはひと言の断りもなく、

組織Aとすれば、一回だけ仕事をしたPさんのお友達というだけで、Qさんとすぐに組むことはできない。

でも、そのように断ることでPさんの顔をつぶすものしひびない。

組織Aは大いに困ってしまい、紹介者の私に相談がきます。「ここでようやくPさんの暴走を知ることになります」。結論として、「紹介された人」の基本的心得を無視したPさんには、今後の仕事から外れていただくことになったのです。

Pさんはどうすれば良かったのか? 最初の一回だけでいい、当初の紹介者である私に「友人Qさんを組織Aに紹介してよいか」とひと声かけるだけで良かったのです。その手間を省いたために、せっかくのチャンスをふいにし、信用も友情も失いました。

おかげさまでいかが? SNSで簡単に人と人をつなぐことができてしまふ時代、こういう紹介マナーはさくさいと見る方も多いでしよう。当初の紹介者を無視してさつと人と人をつないでいくほうが時代に合う、という声も聞

こえます。しかし、その軽さゆえの紹介トラブルもあちこちと聞きます。

覚えておきましょう。人を紹介する、されるということは本来、多大な責任をとらなければならないことを、それゆえ重要なビジネスの場面では、「紹介された人」が紹介者を飛び越えて勝手な振る舞いをするとは、いまだに命とりになるということも。

ビジネス書に掲載される紹介マナーは、「目下の人を目上の人より先に紹介する」という紹介順序に関するものです。しかし、本当の意味での紹介マナーは、その後に開かれます。紹介者を介した出会いの場合、少なくとも最初の一回はその後の展開を紹介者にひと言伝える、というのが筋です。

表層的なマナーよりむしろ、表に見えない心の機軸をいかに丁寧に扱うかが、仕事や社交の成否を分ける秘訣であることに、「目覚めなさい」。あ、二度目からは「自由」。